

## 第15回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー 分科会の選考指針

若手医師のための家庭医療学冬期セミナー（以下、冬セミ）は家庭医療・総合診療を学ぶ、医師3-9年目、専攻医を主な対象としたセミナーであり、日本プライマリ・ケア連合学会の開催する家庭医療学夏期セミナー、秋季生涯学習セミナーの中間世代を対象としたセミナーです。

年次、職場環境、学習段階の異なる様々な参加者のニーズに応えることができるように、また、過去の冬セミや他のセミナーなどとの内容の重複に留意しながら分科会として、22のワークショップ（以下、WS）と講演を開催する運びといたしました。

WSはスタッフより開催を講師に依頼する（1）依頼WS、学会のメーリングリスト等で公募を行いスタッフで採用を検討する（2）公募WSの2つに分け企画を進めています。

依頼WSにおいては、①家庭医療・総合診療のコアとなる内容で確実に開催したいWS、②公募WSでは募集が困難な他科領域のWS・講演、③最大で280名規模で開催が可能な講演の3つを念頭に下記の6つのWS・講演を企画いたしました。

- （Ⅰ）家庭医療の歴史と展望
- （Ⅱ）BPSモデルの概要と実戦
- （Ⅲ）感染症診療（AMR・抗菌薬の適正利用・ワクチン接種・抗菌薬の不安定供給）
- （Ⅳ）Common DiseaseのUp Date
- （Ⅴ）小児科（思春期ケア）
- （Ⅵ）皮膚科（診断学、プライマリ・ケア）

公募WSについては、9-10月の募集期間中に応募のあったWSから、約14個のWSを採用して開催する予定としています。

採用WSは複数回のスタッフミーティングを経て決定いたしますが、選考の指針として、下記の4点を優先的に採用する見込みです。

- ① 家庭医療・総合診療のコアとなるテーマ
- ② 対象世代のニーズに合致するテーマ  
（事前アンケートの結果、スタッフ評価の高いもの）
- ③ 家庭医・総合診療医に必要と考えられ、若手に共有したいテーマ
- ④ 開催意図が明確なWS・講演

会場の制約から例年と比較してWSの開催数が少なくなっておりますが、多数のご応募を心よりお待ちしております。

第15回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー  
スタッフ代表 下川純希  
WS係 山田悟史